

令和5年度 軽井沢町 全国学力・学習状況調査の結果について

小学校

国語の平均正答率は、全国・県平均をやや下回りました。領域で見ると、「話すこと・聞くこと」「書くこと」は同じでしたが、「読むこと」では全国・県平均を下回っています。問題形式で見ると、「短答式」「記述式」の問題が、全国平均・長野県平均を、やや下回る結果となりました。

算数の平均正答率は、全国平均をやや下回りました。（県平均は上回っています。）領域別で見ると、「変化と関係」「データの活用」では全国・県平均よりも上回り、「数と計算」は全国・県平均よりも「図形」は全国平均よりもやや下回りました。問題形式で見ると、「記述式」の問題が、全国平均よりもやや下回り、国語同様に、説明することに課題が見られました。

児童質問紙調査の結果からは、「将来の夢や目標を持っている」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「普段の読書時間」「学校の授業以外で普段読書をしている」等の質問に対して、肯定的な回答の割合が、全国・県平均よりも高く、前向きに生活している様子が伺えます。一方、「今住んでいる地域の行事に参加している」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」という質問に対しては、否定的な答えの割合が、全国・県平均よりもやや高く、課題が見られました。

中学校

国語の平均正答率は、全国・県平均をやや下回りました。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域の全てにおいても、全国・県平均をやや下回った結果となりました。また、生徒質問紙調査の「国語は好きですか」「国語の勉強は大切だと思いますか」等、国語に関する質問について、肯定的な回答の割合が、全国・県平均を上回る結果となりました。

数学の平均正答率は、全国・県平均を僅かに下回りました。数学の4領域「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の中で、特に「図形」に課題が見られました。一方、生徒質問紙調査の「数学の勉強は好きですか」「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役立つと思いますか」等、数学に関する質問について、肯定的な回答の割合は全国・県平均を大きく上回りました。

英語の平均正答率は、県平均を上回りました。領域別では「聞くこと」において全国・県平均を大きく上回り、「書くこと」において課題が見られました。また、生徒質問紙調査の「英語は好きですか」「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか」等、英語に関する質問について、肯定的な回答の割合が、全国・県平均を上回る結果となりました。

生徒質問紙調査の結果からは、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」「人の役に立つ人間になりたい」「人が困っている時に進んで助けている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」等の質問に対して、肯定的な回答が大変高い実態が明らかになりました。一方、平日や休日の家庭学習の時間、地域行事への参加や地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えるといったことについては、全国・県平均よりも肯定的な割合が低く課題も明らかになりました。